



せゆう ほつ た こ じょう えん きゆう ほつ た け じゅう たく

旧堀田古城園(旧堀田家住宅) 無料



主屋(学習室)



茶室外観

旧堀田古城園は、昭和8年(1933)に料亭旅館として開業された木造建物群で、武田氏館跡の存在を意識して「堀田古城園」と名付けられました。昭和初期の近代和風建築の様式で、建具やガラスなども当時のまま残されています。主屋、長屋棟、離れ3棟、木戸門があり、主屋は講座等を行う学習室や休憩場所として活用しています。離れの1棟は菱形の建物で茶室として改修しています。令和3年2月に、建物全体が国登録有形文化財となりました。



武田氏三代を始めとする武田氏館跡に関わった人々の歴史や移り変わり、この館跡の概要や見所、そして、戦国時代に武田領国の中心として栄えた城下町「甲府」の様子を紹介しています。



特別展示室

有料

発掘調査で明らかにされた戦国時代の武田氏館跡と、城下町「甲府」の構造や暮らしを出土品とともに紹介しています。展示室奥の映像展示では、若き日の武田信玄が登場し、武田氏館での

不侵其疾
動掠徐疾
如山如火
如林如風

出来事や往時の姿を紹介しています。



常設展示室

無料

